

足のすべてがこの一冊に！

改訂3版
図説

足の臨床



定価 23,100円(5%税込)
B5変型判・512頁・上製本・オールカラー
イラスト1,000点、写真530点
ISBN978-4-7583-1036-9

監修 高倉 義典 奈良県立医科大学名誉教授

編集 田中 康仁 奈良県立医科大学整形外科教授
北田 力 奈良県総合リハビリテーションセンター所長

イラスト・写真・本文を一新し、新規に6項目追加して更なる情報の充実を図った改訂3版(全123項目)。「扁平足」や「外反母趾」、「足関節鏡」など、昨今治療の発展がめざましい項目を中心に最新知見を揃え、足部の各種疾患・外傷およびその治療について、カラー写真とイラストで見やすく、わかりやすく解説。足の診療に携わる医師必携の書。

内容見本
40%縮小

先天性外反扁平足

(congenital pes planovalgus congenital pes calcaneovalgus)

図1 先天性外反踵足(生下時, 男児)



図2 小児外反扁平足(2歳, 男児)



症状・診断

先天性外反踵足

新生児の足を側面からみると踵足状しており、尾骨が常に下腿前面に接触しているから、足底を刺激すると反射的に足背が下腿の前面に接触する程度のものでさまざまである(図1)。これらの症例は、他動的に底屈を試みても底背屈中間位を越えないほど強い底屈制限を示す。

小児外反扁平足

立位をとるようになった乳幼児で、荷重時に足の内側だけが接地し、外側が浮き上がって外反外反位をとる(図2)。

治療の要否を決定する目安になるのがX線像であり、とくに立位側面像が重要である。外反扁平足症例では、距離角が正常例に比して増大しており、また距骨軸が第1中足骨軸と比較して底側に向かっている。この側面像より距離角を計測して50°以上の症例に対しては装具療法が適応となる(図4)。

治療

先天性外反踵足

生下時には驚くほどの変形が存在していても、2〜3週間の経過で著しく自然矯正される症例が多いので、装具の装着は生後1か月前後まで経過をみただいで決定しても遅すぎることはない。この間の経過で自然矯正の傾向がみられない症

病因・病態

小児の外反扁平足については、いままで十分な定義がなされていないが、生下時すでに足部全体が強度に背屈して足背が下腿の前面に接触している踵足といわれる先天性外反踵足 (congenital pes calcaneovalgus) と、歩行を開始したのちに外反外反変形を呈する先天性外反扁平足 (pes planovalgus) に分けて論じられることが多い。

先天性外反踵足は子宮内での位置異常や子宮壁による圧迫が病因と考えられ、後足部は軽度外反している。重度のものでは足関節を底屈させようとしても底背屈中間位にまで矯正できないものもある。外反扁平足は靭帯の弛緩が原因で、荷重時に外反扁平足位をとる。弛緩をきたす要因には麻痺足、各種の系統疾患、知能および運動発達遅延などがあげられる。明らかな原因が認められないものも少なくない。変形の程度は一般に軽い。これらを弛緩性可塑性扁平足ともいわれる。

用語解説
距離角 (distance angle)
踵足位の外反・外
が内反・内転し
う。距離角が正常
の足型から外反
変形として鑑

78 先天性の変形

図3 先天性外反踵足に対する装具

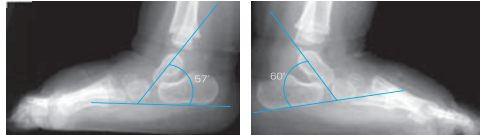
a: 下腿前面から足背に付けて矯正する。b, c: 実際の装着時。



図4 小児外反扁平足のX線側面像から計測法

距離角: 距骨の中心軸と踵向下腿軸との夹角。

a: 1歳3カ月, 男児。



b: 4歳, 男児。

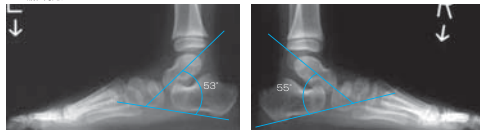


図5 各種の小児外反扁平足の装具

Spatzky装具は突起があり、アーチを矯正する。



予後

先天性外反踵足(踵足)

先天性内反足に比してその予後は良好であり、放置しておいても自然矯正されることが多い。すなわち、経過とともに下腿三頭筋がしだいに筋力を増して、自然に整復位に戻る。本能から小児外反扁平足へ移行するものは少ない。

小児外反扁平足

確立された診断基準や治療方針はないが、装具療法を中心に比較的良好な治療成績が報告され、大部分のものが5歳までに矯正される。

一方、Wegnerら(1989年)はprospectiveに1〜6歳の外反扁平足を治療して、小児の外反扁平足に対する装具療法は治療経過に影響を与えなかったと結論している。この論文は小児外反扁平足に対する装具療法を今日の考え方を要しねばならない懸念を抱かせた。しかし、骨の可塑性に富んだ若年期に可及的早期に正常位に戻してやることが、足の発育には理想的であり、小児外反扁平足に対する装具療法がまったく無意味であるとは考えがたい。

(高倉義典)

- カラー写真とイラストでオールマイティに足を網羅
- 診断・治療のあらゆる場面に対応できる構成
- 日本整形外科学会の専門医試験参考図書

目次

足の解剖・機能解剖

足の解剖
足の機能解剖

足の診断

問診、視診、触診
画像診断
徒手筋力テスト
疼痛部位と疾患

先天性の変形

先天性脛骨列形成不全症
先天性腓骨列形成不全症
先天性下腿弯曲症
先天性内反足
先天性内転足
先天性多発性関節拘縮症
先天性外反扁平足
先天性垂直距骨
多趾症
合趾症
巨趾症
先天性内反母趾症
巻き趾
絞扼輪症候群
足趾短縮症
足根骨癒合症
球状足関節

後天性の変形

変形性足関節症
変形性Lisfranc関節症
扁平足
足底腱膜炎
腓骨筋腱滑車症候群
外反母趾
強剛母趾
槌趾
内反小趾
陥入爪、彎曲爪、鉤彎爪
胼胝、鶏眼

種子骨および過剰骨障害

母趾種子骨障害
三角骨障害
外脛骨障害
そのほかの種子骨・過剰骨障害

絞扼性神経障害

足根管症候群
前足根管症候群
Morton病

骨端症および無腐性壊死

踵骨骨端症
第1Köhler病
二分舟状骨
Freiberg病
距骨壊死

骨折

果骨骨折
軸圧骨折
足関節部骨端損傷
距腿関節脱臼
距骨下関節脱臼
距骨骨折
距骨骨軟骨損傷
距骨外側突起骨折
踵骨骨折
二分靭帯損傷および踵骨前方突起骨折
舟状骨骨折
立方骨骨折
Lisfranc関節脱臼・骨折
中足骨骨折
趾骨骨折・脱臼

筋腱・靭帯・皮膚損傷

アキレス腱断裂
足関節靭帯損傷
新鮮外側靭帯損傷
陳旧性外側靭帯損傷
内側靭帯損傷、三角靭帯損傷

脛腓靭帯損傷
骨間距踵靭帯損傷
Lisfranc靭帯損傷
足根洞症候群
腓骨筋腱脱臼
後脛骨筋腱脱臼
足部皮膚損傷

麻痺足

麻痺足
弛緩性麻痺
痙性麻痺

足部の腫瘍および類似疾患

単発性骨嚢腫
踵骨内脂肪腫
滑膜性骨軟骨腫症
類骨骨腫
爪下外骨腫
骨軟骨腫
足底線維腫
黄色腫
腱鞘巨細胞腫
色素性絨毛結節性滑膜炎
ガングリオン
メロレオストーシス
線維性骨皮質欠損

足部の炎症および全身性疾患に伴う足部障害

化膿性関節炎
骨関節結核
踵骨骨髓炎
Brodie骨膿瘍
足部の滑液包炎
血友病性関節症
関節リウマチ
痛風
足部の血行障害
神経病性関節症
糖尿病性足部障害

足部のスポーツ障害

アキレス腱周囲炎、アキレス腱炎
アキレス腱付着部障害
シンスプリント
衝突性外骨腫
疲労骨折

足部疾患の治療－保存療法

徒手整復とギプス固定
テーピング
サポーター
足底挿板
短下肢装具
義足
靴

足部疾患の治療－手術療法

アンクルブロック
皮切および進入路
足関節鏡、鏡視下手術
足関節滑膜切除術
下位脛骨骨切り術
人工足関節置換術
足関節固定術
距骨下関節固定術
足関節兼距骨下関節固定術
三関節固定術
切断

注文申込書

改訂3版 図説 足の臨床

定価 23,100円 (5%税込)
ISBN978-4-7583-1036-9

冊

申込日

年 月 日

お届け方法
(いずれかに○印)

1. 書店 下欄に書店をご指定いただくか、書店に直接お渡しください

(..... 市・区)
書店名 :

2. 代引宅配便 配送手数料525円 (税込) 1~3営業日でお届けします

3. 宅配便 配送手数料525円 (税込) 2~4営業日でお届けします

4. 郵送 配送手数料315円 (税込) 4~6営業日でお届けします

取扱店

〒 _____ (どちらかに○印/ ご自宅・ご勤務先)

フリガナ
ご住所

TEL. ()

フリガナ
お名前

フリガナ
ご勤務先

ご所属

E-mail

フリガナ
ご請求先

(お届け先と異なる場合のみ) ※代引宅配便はできません

10.6.sn.1.0